

Cisco Unified Communications Web ベースの管理の脆弱性

Critical アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20071017-IPCC](#)
初公開日 : 2007-10-17 16:00 [2007-5539](#)
バージョン 1.1 : Final
CVSSスコア : [9.0](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Unified Contact Center および Intelligent Contact Management の各製品には、Web ベースのレポート作成とスクリプト監視ツール (Web View) や Web ベースの設定ツール (Web Admin) への不正アクセスの原因となる可能性がある脆弱性が含まれています。

このアドバイザリーは [017-IPCC](#) で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

次の製品は、Web ベースのレポート作成とスクリプト監視ツール (Web View) への不正アクセスの原因となる脆弱性に該当します。

- Cisco Unified Intelligent Contact Management Enterprise (Unified ICME)
- Cisco Unified ICM Hosted (Unified ICMH)
- Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE)
- Cisco Unified Contact Center Hosted (UCCH)
- Cisco System Unified Contact Center Enterprise (SUCCE)

次の製品は、Web ベースの設定ツール (Web Admin) への不正アクセスの原因となる脆弱性に該当します。

- Cisco System Unified Contact Center Enterprise (SUCCE)

Administration Workstation (AW) にインストールされたソフトウェアのバージョンを調べる

には、Windows Server の Add or Remove Programs ウィンドウに移動します。影響を受けている場合、インストールされているアプリケーションの一覧に Cisco ICM Maintenance Release ICM 7.1(5) と表示されます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

次の製品は、このドキュメントで説明されている脆弱性には該当しません。

- Cisco Unified Contact Center Express
- Cisco IP Contact Center Express

この脆弱性に該当するその他の Cisco 製品は現在のところ見つかりません。

この脆弱性が該当するのは、ソフトウェア バージョン ICM 7.1(5) が稼働している確認済みの製品だけです。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2008-April-25	CSCsj55686 のための CVSS スコアへの更新済リ ンク。
リビジョン 1.0	2007 年 10 月 17 日	初版リリース

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。